

二宮町 調査報告書

二次予防事業対象者把握事業

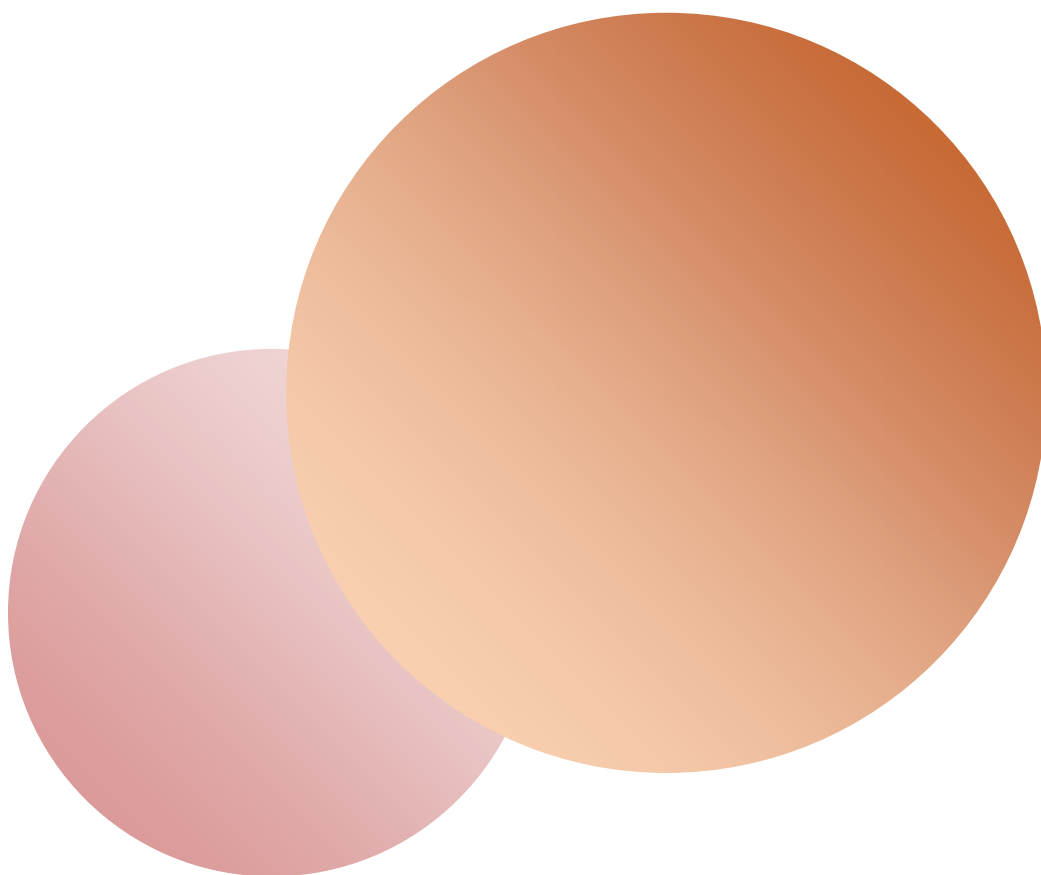
平成 23 年 11 月

神奈川県二宮町

目次

第1章	調査実施の概要	3
1	調査実施の趣旨	3
2	調査対象者と調査時期	3
3	調査の配布・回収状況	3
4	二次予防事業対象者の抽出条件	4
5	報告書の見方	5
6	回答者の属性	6
7	未返信者の属性	7
第2章	調査の結果	11
1	国基本設問の調査結果	11
2	町独自設問の調査結果	16
3	調査結果からみた考察	17
第3章	資料編	21
1	調査結果に基づく国への報告数値	21
2	アンケート調査票	22
3	個人アドバイス票	23

第1章 調査実施の概要



第1章 調査実施の概要

1 調査実施の趣旨

基本チェックリストの結果を活用し、二宮町における高齢者の特徴を客観的に把握し、今後の高齢者福祉施策に反映する。

2 調査対象者と調査時期

(1) 調査対象者

二宮町の一色小学校区に居住する要介護者及び要支援者を除く第1号被保険者に対し、基本チェックリストを実施

(2) 調査時期

平成23年6月 65歳以上の高齢者を対象に実施

3 調査の配布・回収状況

調査による回収状況は、以下のとおりです。

表1.1 基本チェックリストの配布・回収状況

年度	圏域名	配布数（人）	回収数（人）	有効回収率（%）
平成23年	一色小学校区	1,974	1,795	90.9

※配布時期：平成23年6月

4 二次予防事業対象者の抽出条件

二次予防事業対象者は、以下の設問に対し、寄せられた回答を採点することで、どのようなリスクを抱えているか判定し、抽出しています。具体的には以下の通りです。

《基本チェックリスト》

基本チェックリスト質問項目

1 バスや電車で1人で外出していますか？	① 虚弱
2 日用品の買い物をしていますか？	
3 預貯金の出し入れをしていますか？	
4 友人の家を訪ねていますか？	
5 家族や友人の相談にのっていますか？	
6 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか？	
7 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか？	
8 15分くらい続けて歩いていますか？	② 運動機能
9 この1年間に転んだことがありますか？	注意点数3点以上
10 転倒に対する不安は大きいですか？	
11 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか？	注意点数2点
12 身長 cm 体重 kg (BMI [※] =)	
13 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか？	③ 栄養
14 お茶や汁物等でむせることがありますか？	
15 口の渇きが気になりますか？	
16 週に1回以上は外出していますか？(通院や買い物などは除きます。)	注意点数2点
17 昨年と比べて外出の回数が減っていますか？	
18 周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあるとされますか？	④ 口腔
19 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか？	
20 今日が何月何日かわからない時がありますか？	注意点数2点以上
21 (ここ2週間)毎日の生活に充実感がない？	
22 (ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった？	⑤ 外出
23 (ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる？	
24 (ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない？	注意点数16番が1点
25 (ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする？	
※BMIとは、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で算出する数字です。	

① 虚弱
注意点数10点以上
 全体的な体力等が低下すると、点数が高くなります。

② 運動機能
注意点数3点以上
 バランス感覚や下肢の筋力が低下すると、点数が高くなります。

③ 栄養
注意点数2点
 エネルギー量やたんぱく質などが不足してくると、点数が高くなります。

④ 口腔
注意点数2点以上
 飲み込みの力やかむ力などが低下すると、点数が高くなります。

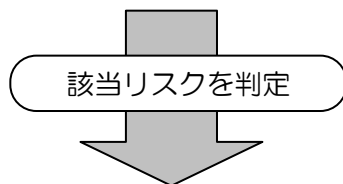
⑤ 外出
注意点数16番が1点
 週に1度も外出しないなど、閉じこもりがちな生活になると、点数が高くなります。

⑥ 物忘れ
注意点数1点以上
 認知症のサインがあると、点数が高くなります。

⑦ うつ傾向
注意点数2点以上
 「こころの疲れ」の兆しがあると、点数が高くなります。

二次予防事業対象者の該当リスクを判定

リスク	該当条件
うつ予防・支援関係を除く20項目	No.1～20のうちいずれか10項目以上に該当
運動器の機能（転倒含む）	No.6～10のうちいずれか3項目以上に該当
栄養状態	No.11及び12の2項目すべてに該当
口腔機能	No.13～15のうちいずれか2項目以上に該当



閉じこもり対象者	虚弱・運動・栄養・口腔機能のいずれかに該当し、且つ各リスクに該当する者
認知症対象者	
うつ対象者	

5 報告書の見方

(1) 集計結果を見るとき注意点

回収した調査票のうち、調査票の設問におおむね回答があるものを有効回答とし、それ以外の無効回答はすべての集計処理からはずしています。

また、調査結果の比較を行うために、パーセント表示する場合、小数点第2位以下を四捨五入しているため、表中の内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

(2) 母数の表記

グラフ近辺にある「n=***」は、パーセントを算出する基になった母数を意味し、この母数はアンケートの有効回答数によって決定されています。

(3) 集計について

クロス集計のグラフでは、「無回答」や「その他」を除いているために、回答者の合計と一致しない場合があります。

また、グラフと表の記載にあたっては、調査票の選択肢の文章を簡略化して表現している場合があります。

6 回答者の属性

図1.1 回答者の性別 (n=1,795人)

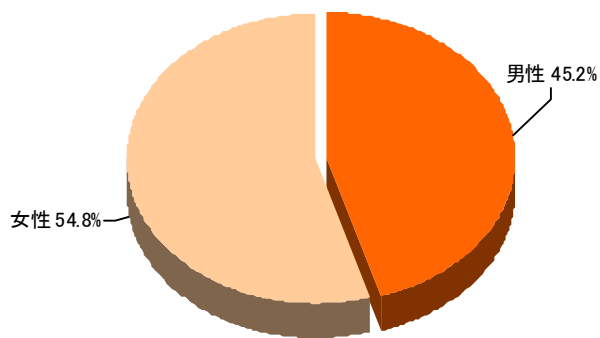


図1.2 回答者の年齢別 (n=1,795人)

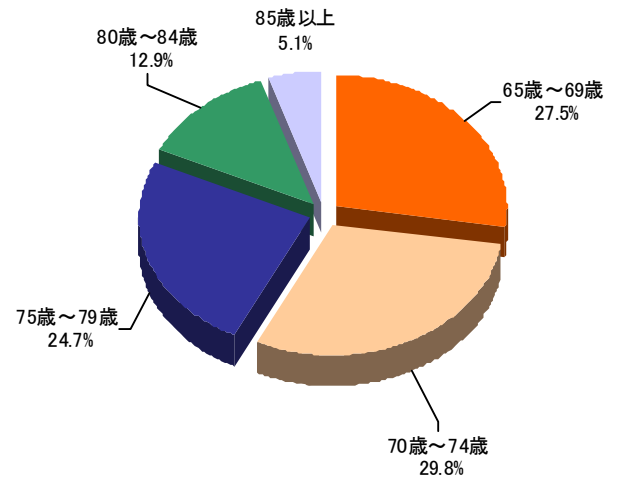
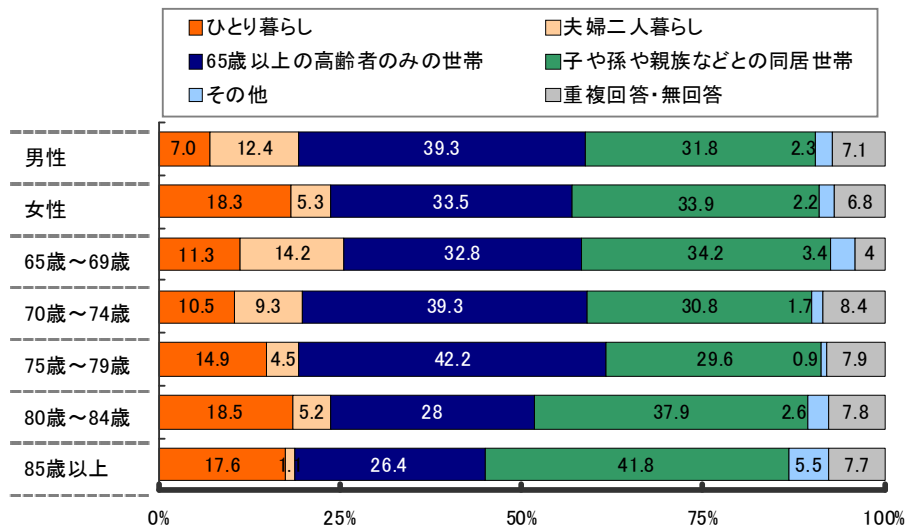


図1.3 回答者の性別・年齢・家族構成別 (n=1,795人)



7 未返信者の属性

図1.4 未返信者の性別 (n=179人)

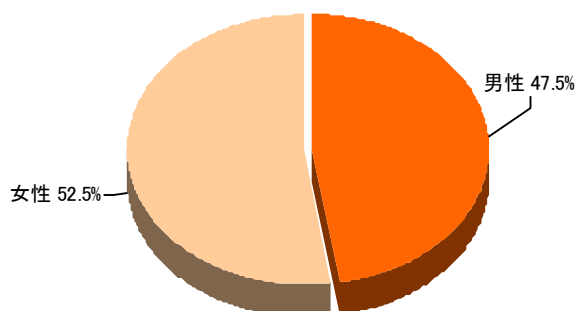


図1.5 未返信者の年齢別 (n=179人)

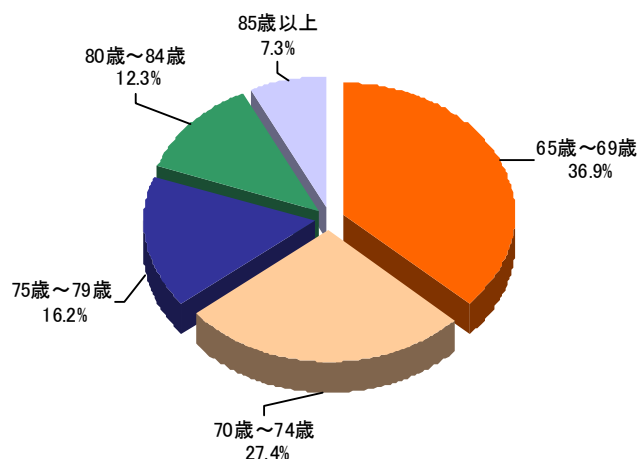
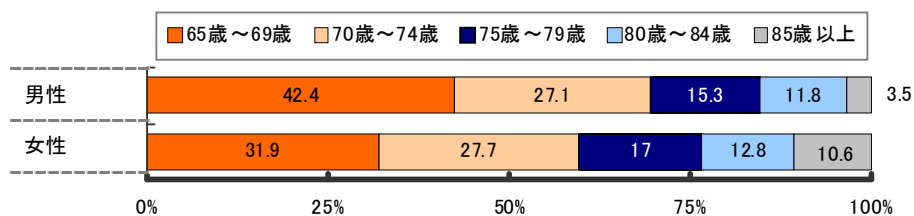
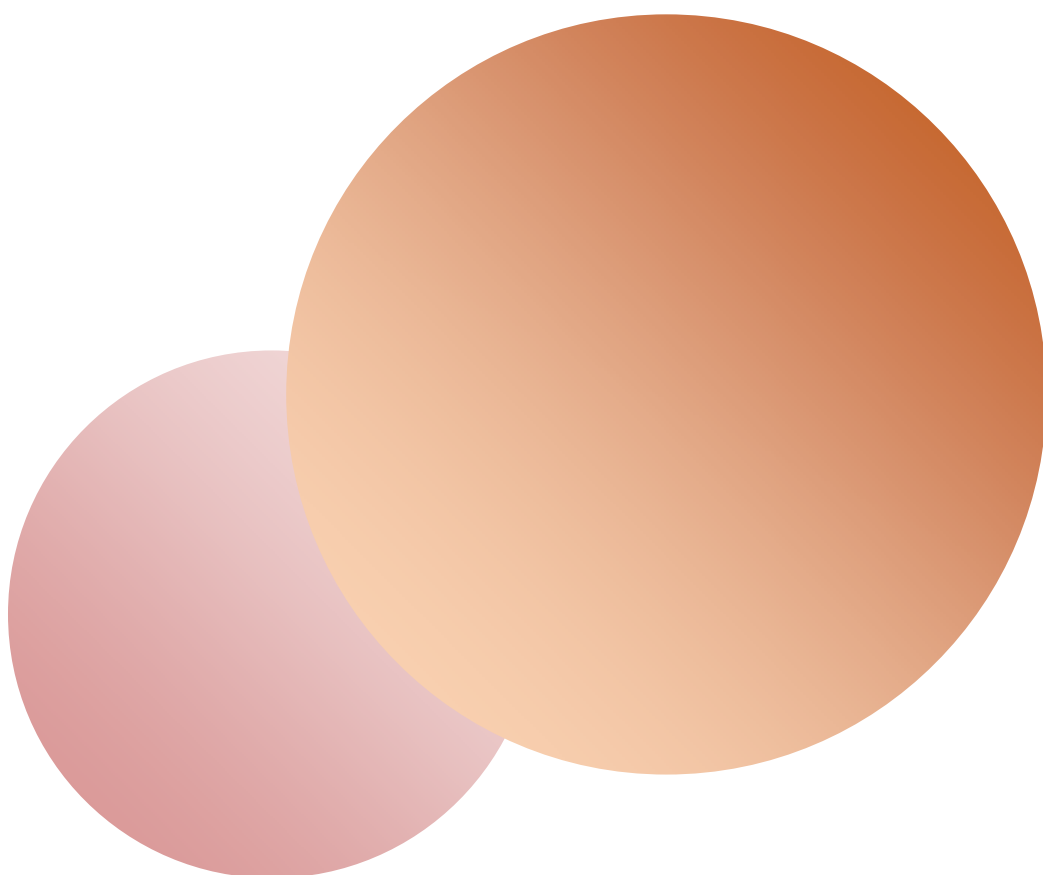


図1.6 未返信者の性別・年齢別 (n=179人)



第2章 調査の結果



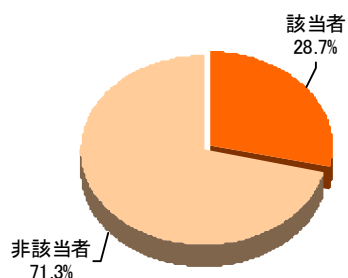
第2章 調査の結果

1 国基本設問の調査結果

(1) 基本情報

二次予防事業対象者／発送対象者	515人／1795人	28.7%
-----------------	------------	-------

図2.1 該当者の割合 (n=1,795人)



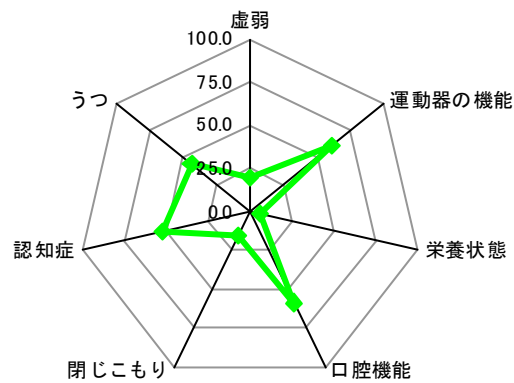
(2) 全体の傾向 (二次予防事業対象者)

◆ 各リスクの状況 (リスク割合) (n=515人)

	虚弱	運動器の機能	栄養状態	口腔機能	閉じこもり	認知症	うつ	実人数
人数	99人	310人	28人	303人	78人	267人	227人	515人
リスク割合	19.2%	60.2%	5.4%	58.8%	15.1%	51.8%	44.1%	100%

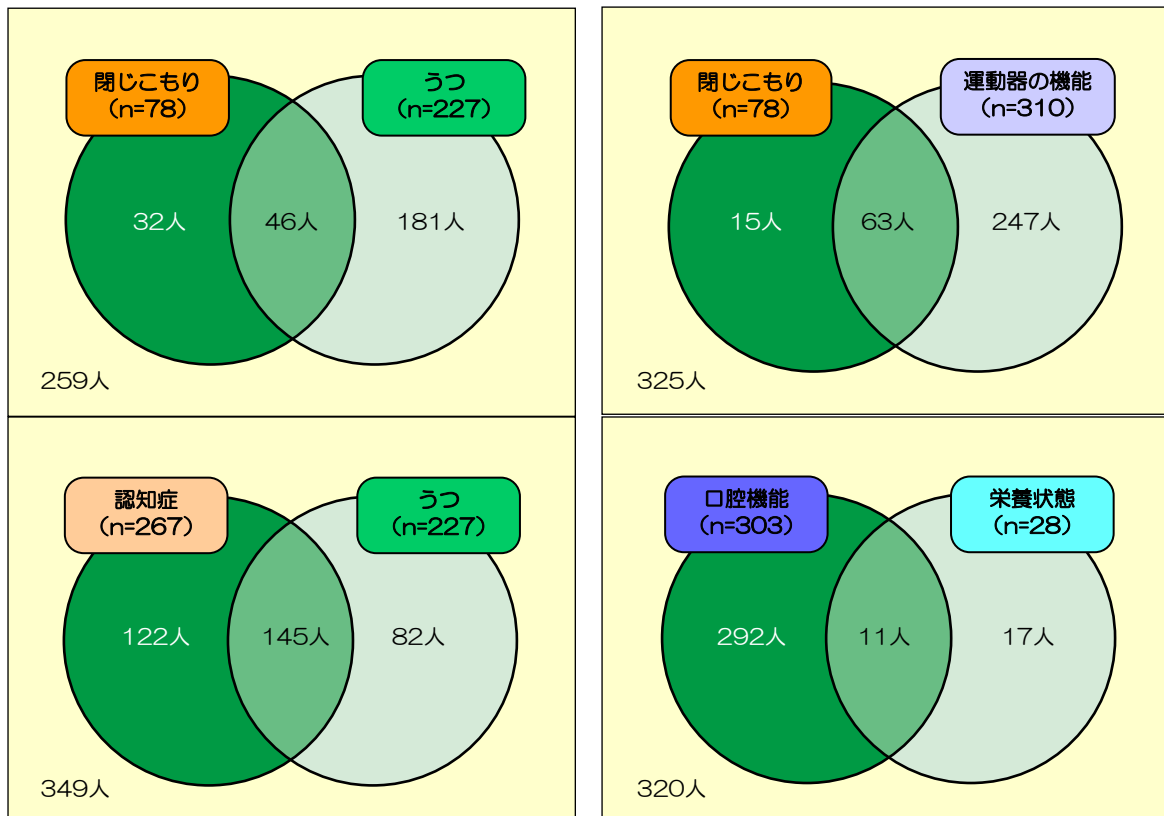
※「リスク割合」は全該当者中に占めるリスク者の割合です。

図2.2 各該当者の該当割合 (n=515人)



◆親近性の高いリスクの重複

図2.3 関連リスク同士のベン図 (n=515人)

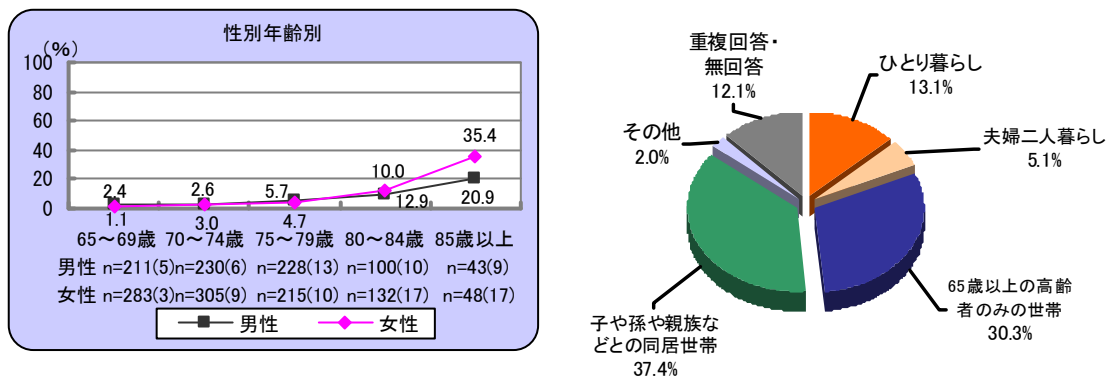


(2) 各リスクの調査結果（二次予防事業対象者）

各リスクの割合は、年齢階級別に男性全体の中で各リスク者の占める割合、女性全体の中で各リスク者の占める割合となっています。

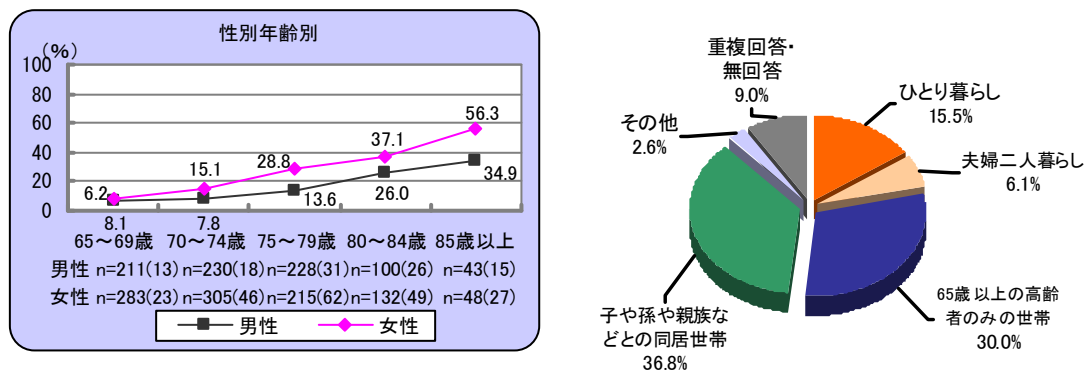
1. 虚弱

図2.4 「虚弱」の調査結果（99人）



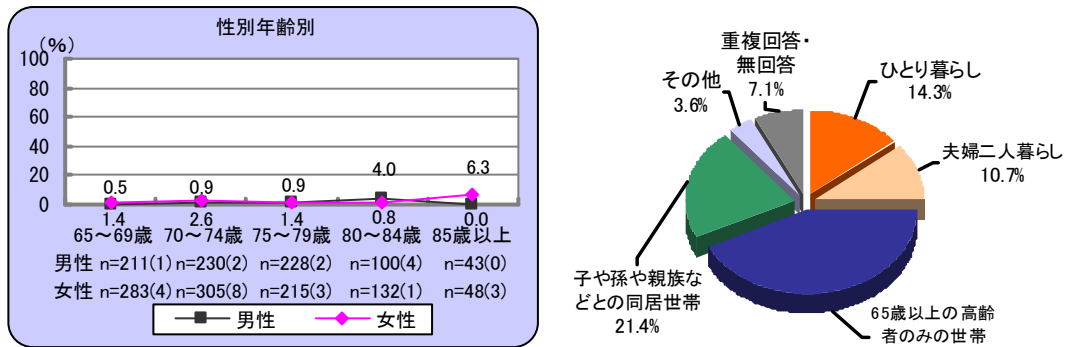
2. 運動器の機能

図2.5 「運動器の機能」の調査結果（310人）



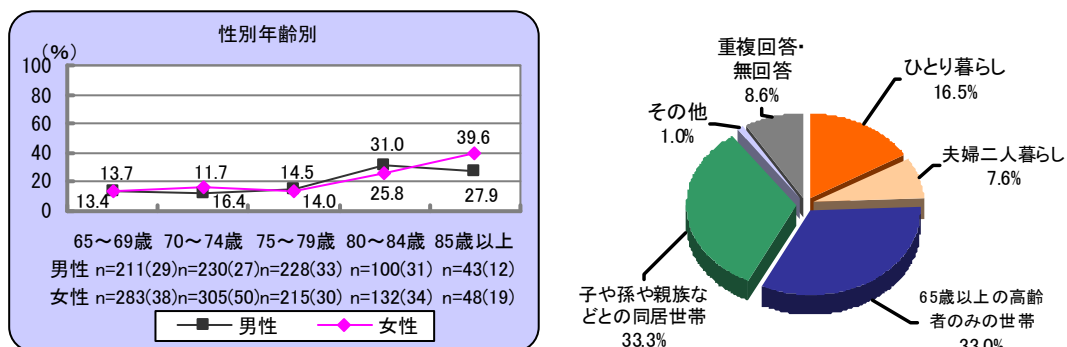
3. 栄養状態

図2.6 「栄養状態」の調査結果（28人）



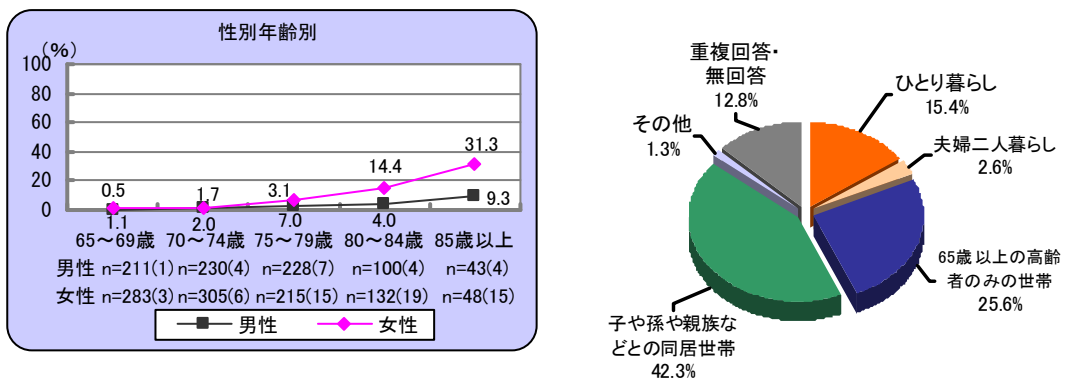
4. 口腔機能

図2.7 「口腔機能」の調査結果（303人）



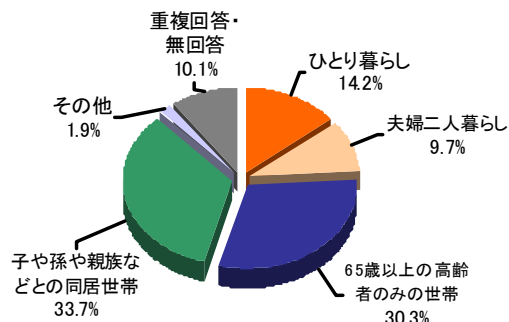
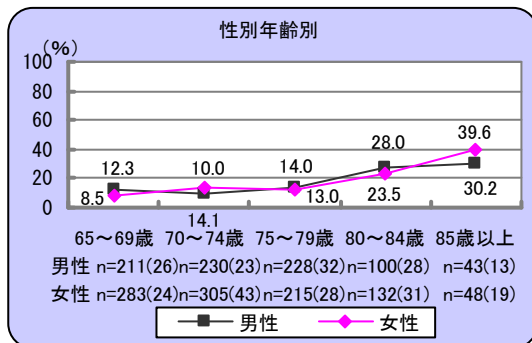
5. 閉じこもり

図2.8 「閉じこもり」の調査結果（78人）



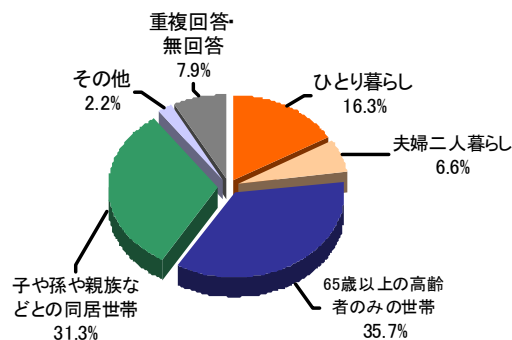
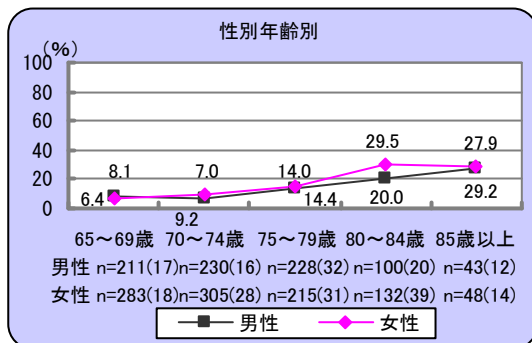
6. 認知症

図2.9 「認知症」の調査結果（267人）



7. うつ

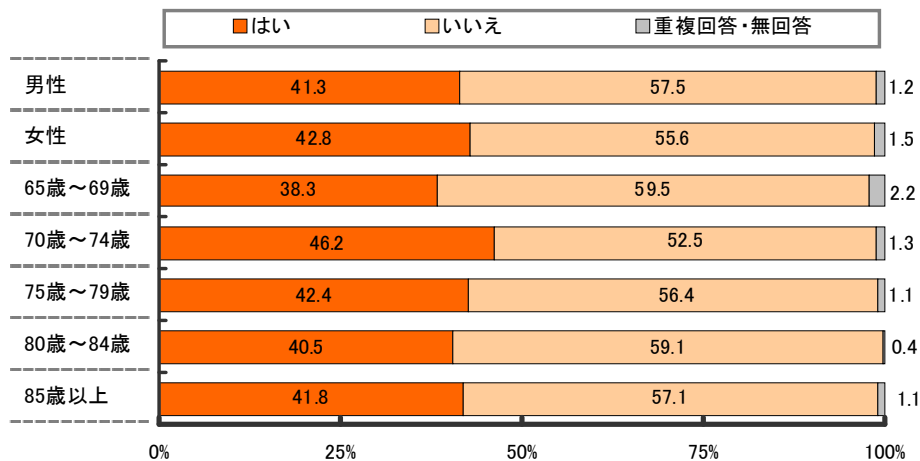
図2.10 「うつ」の調査結果（227人）



2 町独自設問の調査結果

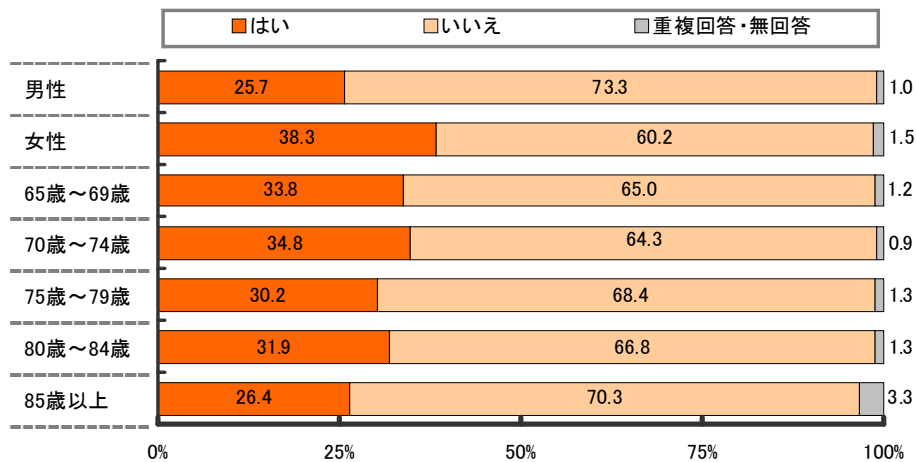
(1) 問12 「健康づくり・生きがいつくり・仲間づくりのために何か事業に参加していますか」

図2.11 回答者の性別・年齢別



(2) 問13 「地域包括支援センターを知っていますか」

図2.12 回答者の性別・年齢別



3 調査結果からみた考察

すべてのリスクで、年齢が高くなるにつれ該当者が増加する傾向がみられています。

「運動器の機能」に関して、女性の70～74歳の段階で15%程度、男性に関しては75～79歳の段階で14%程度の該当者がいるため、増加傾向にある年齢より早い段階から「運動教室」等の介入が必要と考えられます。

「閉じこもり」に関して、女性の80～84歳の段階で14%程度、85歳以上に関しては31%程度と増加傾向が強くみられるためこれらの期間で女性を対象とした「閉じこもり予防教室」等の介入が必要と考えられます。

「うつ」に関しては70～74歳から75～79歳の間で増加傾向にあります。「虚弱」と「口腔」と「認知症」に関しては75～79歳と80～84歳の間で増加傾向が強くみられるため、これらの期間で「元気アップ教室」等の介入が必要と考えられます。

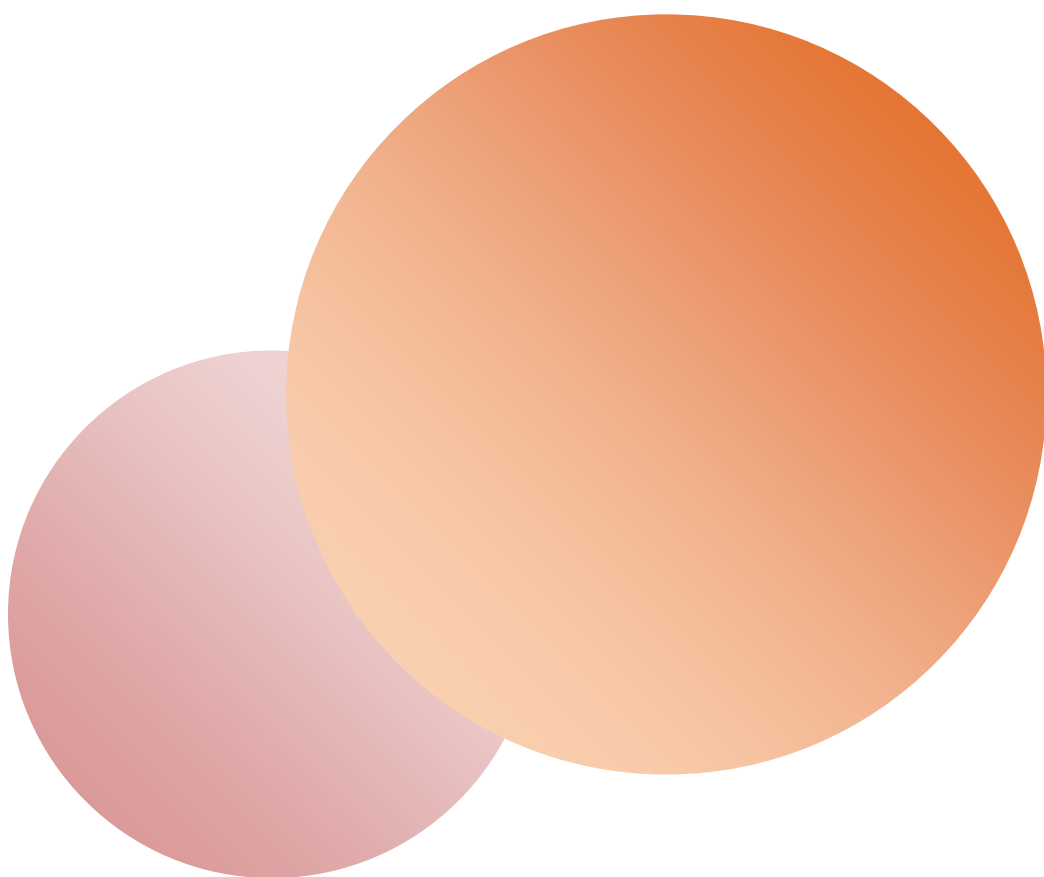
また、近親性の高いリスクの観点からみると、「閉じこもり」の該当者の81%程度の方は「運動器の機能」の該当者であり、59%程度の方は「うつ」の該当者です。「閉じこもり」の予防をすることにより「運動器の機能」および「うつ」の予防にもつながると考えられます。「閉じこもり」「運動器の機能」「うつ」の複合型の介護予防教室等の参加を促し、それらのリスクを減らすことが重要と考えられます。

家族構成の観点からみると、「栄養状態」の該当者の43%程度の方は65歳以上の高齢者のみの世帯の方で、他のリスクより該当者が多い結果です。また、「閉じこもり」の該当者の42%程度の方は子や孫や親族など同居世帯で多い結果です。65歳以上の高齢者のみの世帯の方は「栄養状態」に、子や孫や親族など同居世帯の方は「閉じこもり」に注意が必要と考えられます。

健康、生きがい、仲間づくりのための事業への参加も6割程度の方がしていないことから、そのような事業へ参加を促したり、あるいは健康や生きがいや仲間づくりを行えることができる仕組みの構築が必要だと考えられます。

また、地域包括支援センターの認知度に関しては、7割程度の方が知らないとの結果が出ています。地域包括支援センターは高齢者の暮らしを支える総合的な窓口であり、関係機関との橋渡し役でもあります。広報や独自のパンフレット等を作成し、地域住民の理解度を高めるための方策が必要と考えられます。

第3章 資料編



第3章 資料編

1 調査結果に基づく国への報告数値

単位：人

項目	区分	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	計
調査対象年度の前年度からの継続者	男性						
	女性						
調査対象年度の新規該当者	男性	35	42	53	43	20	193
	女性	56	86	80	66	34	322
計		91	128	133	109	54	515

単位：人

項目	区分	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳～	計
運動器の機能向上	男性	13	18	31	26	15	103
	女性	23	46	62	49	27	207
栄養改善	男性	1	2	2	4	0	9
	女性	4	8	3	1	3	19
口腔機能向上	男性	29	27	33	31	12	132
	女性	38	50	30	34	19	171
閉じこもり予防・支援	男性	1	4	7	4	4	20
	女性	3	6	15	19	15	58
認知症予防・支援	男性	26	23	32	28	13	122
	女性	24	43	28	31	19	145
うつ予防・支援	男性	17	16	32	20	12	97
	女性	18	28	31	39	14	130
計		91	128	133	109	54	515

3 個人アドバイス票

一次予防事業および二次予防事業対象者共通（表面）

より楽しい暮らし方へのアドバイス

あなたへの総合アドバイス



日常生活



ひとことアドバイス

閉じこもり



ひとことアドバイス

心の健康



ひとことアドバイス

転倒



ひとことアドバイス

物忘れ



ひとことアドバイス

口腔



ひとことアドバイス

栄養



ひとことアドバイス

教室等については裏面をご覧ください!

一次予防事業対象者用（裏面）

～健康相談～

高血圧、動脈硬化、糖尿病、歯周病等の生活習慣病やメタボリックシンドローム等の予防と改善等健康に関する相談。保健師・管理栄養士・歯科衛生士が受け付けます。

（要予約）電話相談は随時受け付けます。
詳しくは保険予防課健康づくり班まで
71-3311（内線 244・265）

～ごろばん塾（元気キープ編）～

ストレッチ体操、ウォーキング、踏み台ステップ運動などを組み合わせた運動教室です。

日時：週1回火曜日 10時～12時
場所：つぐみのあかこモンズ（富士見が丘）
参加費：1回300円

- ① 5/31～7/26（初級コース）
- ② 8/30～10/25（中級コース）
- ③ 11/1～12/27（初級コース）
- ④ 1/17～3/13（中級コース）

申し込みは広報お知らせ欄を参照ください。
詳しくは高齢障がい課高齢者支援班まで
71-3311（内線 241・242）

～にざわい塾～

「高齢者の健康づくり（口腔機能向上、運動機能向上、栄養講座など）や「介護保険制度」などについての出席出張講座。内容をご相談ください。

詳しくは高齢障がい課高齢者支援班まで
71-3311（内線 241・242）

～地域ミニティサービス～

自宅近くの会場で、レクリエーションや軽体操などのサービスです。

対象者：概ね75歳以上で生活は自立している毎月2回開催 お昼代利用者負担あり

詳しくは二宮町社会福祉協議会まで
73-0294

健康お助けノハウ3講座（メタボリック予防教室）

～食事・運動を通して予防・改善しましょう♪～

日付	内容	講師	参加費
9月13日（火） 10：00～12：00 定員 20名	横高流 運動不足解消術 編 ～講座・実習を通して 肩こり・むき痛・腰痛も解消！～	スポーツプログラマー 横高 靖子 先生	50円
11月1日（火） 10：00～12：30 定員 20名	健診後のセルフケア 編 ～講座・実習を通して塩分量を知らう 舌もビックリ！減塩料理を味わおう～	保健師 管理栄養士 ヘルスメイト二宮	600円

申し込みは広報お知らせ欄を参照ください。
詳しくは保険予防課健康づくり班まで71-3311（内線 244・265）

二次予防事業対象者用（裏面）

～元気アップ教室～

元気なうちから、楽しみながら介護予防を行なひましょう。
運動機能向上、口腔機能の向上、栄養改善、認知機能向上の複合プログラム。

期間：週1回 3カ月間 10時～12時
費用：1回300円
場所：一色防災コミュニティセンター

～にざれい塾～

「高齢期の健康づくり（口腔機能向上、運動機能向上、栄養講座など）や「介護保険制度」などについての出前出張講座。内容はご相談ください。

詳しくは高齢障がい課高齢者支援班まで
71-3311（内線241・242）

～健康相談～

高血圧、脳血管障害、糖尿病、歯周病等の生活習慣病やメタボリックシンドローム等の予防と改善等健康に関する相談。保健師・管理栄養士・歯科衛生士が受けします。

（要予約）電話相談は随時受け付けます。
詳しくは保険予防課健康づくり班まで
71-3311（内線244・265）

「元気アップ教室」のスケジュールは以下のとおりです

※送迎があります。
※送迎は高齢障がい課高齢者支援班まで 71-3311（内線241・242）

	11/27（水）	運動	口腔	栄養	認知症の予防	運動	口腔	栄養	運動	修了式
1コース目	10/18（火）	10/25（火）	11/1（火）	11/8（火）	11/15（火）	11/22（火）	11/29（火）	12/6（火）	12/13（火）	12/20（火）
2コース目	1/13（金）	1/20（金）	1/27（金）	2/3（金）	2/10（金）	2/17（金）	2/24（金）	3/2（金）	3/9（金）	3/16（金）
3コース目	1/17（火）	1/24（火）	1/31（火）	2/7（火）	2/14（火）	2/21（火）	2/28（火）	3/6（火）	3/13（火）	3/20（火）

～地域ミニネイサーズ～

自宅近くの会場で、レクリエーションや軽体操などのサービスです。

対象者：概ね75歳以上で生活は自立している方
月2回開催 お昼代利用者負担あり

詳しくは二宮町社会福祉協議会まで
73-0294



二次予防事業対象者把握事業調査報告書

発 行 平成23年11月
企画・編集 神奈川県二宮町高齢障がい課
〒259-0196 神奈川県中郡二宮町二宮961番地
T E L 0463-71-3311（代表）
U R L [http:// www.town.ninomiya.kanagawa.jp/](http://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/)